

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：成蹊大学

【2022/6/5】

この試合のプレー集計

2部5-9

東京工業大学 22

7	—	1
6	—	2
5	—	4
4	—	3
PSO		

10 成城大学

審判： 宇田川 佑里子
古元 美帆

東京工業大学	47	SH数	29	成城大学
	26	速攻数	1	
	25	ST・SB	13	
	3	SH・P誘発アシスト	0	
	29%	GK阻止率	33%	
	11	EX反則数	2	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

2部リーグ下位トーナメント戦の初戦。成城大は主将が就活で戦列を離れているため、1次リーグ戦よりもさらに苦戦が予想される。

1P

戦前の予想通り、成城はなかなかボールが回せず、シュートも遠い位置からの威力のないものが続き、そこを東工大に攻め込まれて一気に6失点。しかし、ピリオド終盤に退水を奪って③佐藤が1点を返し、東工大7-1成城大で第1ピリオド終了。

2P

成城大は劣勢ではあるものの、次第に③佐藤が粘って徐々に東工大ゴールに迫る展開が見られるようになった。ピリオド中盤には③佐藤がペナルティを奪い、成城大に3点目をもたらした。前半、東工大13-3成城大と大差がついたが、1次リーグ戦以上の展開を見せる成城大の後半が楽しみ。

3P

成城大の粘りは、東工大GK①中内を追い詰めてペナルティ。そこを③佐藤が決めて4点目。東工大に追加点を取られても③佐藤を軸に前へ出る成城大。中盤には、ドライブ攻撃と速攻で③佐藤が連続得点し、ピリオド最後も③佐藤が6mシュートを決め、このピリオドだけは東工大5-4成城大と互角の戦いを見せた。

4P

最終ピリオドも成城大の勢いは止まらず、ここでもペナルティを奪うなど3得点。ピリオドでは東工大4-3成城大と善戦が目立った。トータルでは東工大22-10成城大と東工大が順当勝ちしたが、ぎりぎりのメンバーでも粘った成城大。最終週でのさらなる奮闘を期待したい。